

協働事業概要書

課名 リサイクルプラザ

下記のとおり、協働事業を提案し、連携団体を募ります。

なお、『まちを育む 市民と行政の協働ルールブック』に定める事項を理解した上で、事業を遂行します。

提案タイプ	行政提案型“はばたき”
提案事業名	生ごみを使ったEMぼかし作り講座の実施
事業の分野	<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉 <input type="checkbox"/> 社会教育 <input type="checkbox"/> まちづくり <input type="checkbox"/> 観光の振興 <input type="checkbox"/> 農山漁村又は中山間地域の進行 <input type="checkbox"/> 文化・芸術・スポーツ <input checked="" type="checkbox"/> 環境の保全 <input type="checkbox"/> 災害救援 <input type="checkbox"/> 地域安全 <input type="checkbox"/> 人権擁護・平和推進 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の形成 <input type="checkbox"/> 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 情報化社会の進展 <input type="checkbox"/> 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 職業能力の開発・雇用機会の拡充支援 <input type="checkbox"/> 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 団体運営への支援 <input type="checkbox"/> その他()
事業期間(予定)	令和7年4月1日から令和10年3月31日まで
事業概要 (後述の内容をまとめたものを記載してください) ※300字以内 (この欄の記載内容は、ホームページ等で公表します。)	<p>家庭から出る可燃ごみは、大半が生ごみ等の家庭台所から出るものであることから、家庭の台所から出る生ごみの自家処理を推進することを目的として、生ごみ処理機やコンポスト等の購入費の一部を補助しごみの減量対策を実施しています。今後、生ごみをもとにEM菌を使ったぼかし(油かすや米ぬかなど有機肥料に、EM菌を混ぜ、発酵させて作る肥料)作り講座を実施し、家庭から出る生ごみを基に環境サイクルを回し、環境負荷の低減を目指すものです。</p>
事業の目的 (「何のために」実施する事業なのか、解決したい課題を記載してください)	<p>生ごみはその約8割が水分であり、処分には多くのエネルギーを必要とするため、大量の化石燃料が必要とされています。エネルギー効率が悪く、環境負荷が高いといった多くの問題を抱えている生ごみ処理が喫緊の課題となっている中、生ごみを「資源」として堆肥化させ、土壌改良に役立てることで問題ではなく「解決策」に変えようという動きが進んでいます。</p> <p>再資源化啓発事業として、家庭の台所から出る生ごみをもとにEM菌を使ったぼかし作り講座の実施し、市民への啓発を行う中で、環境負荷の低減と生ごみの更なる減量を目指します。</p>
事業の効果 (事業によって「何が」どう良くなるのかを記載してください)	<p>家庭から排出される生ごみの削減により環境負荷の低減とともに生ごみを使用した有機肥料により、生物循環を促すことができる。</p>

<p>事業の内容 (目的達成のために「何を」「どのように」(内容、実施方法等)実施するのかを具体的に記載してください)</p>	<p>① 小牧市民を対象とした「EMIぼかし作り講座」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所：エコハウス小牧（プラザハウス） 体験工房 ・日時：月 1 回程度 ・時間：1 時間半程度 ・定員：16 名まで ・参加料：500 円 ・実施方法：生ごみに関する講義の後、予め準備しておいたぼかしの基剤の混ぜ方や使用方法の講義 <p>② ①の受講者による情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所：エコハウス小牧（プラザハウス） 体験工房 ・日時：年 1 回程度 ・時間：1 時間半程度 ・定員：16 名まで ・参加料：500 円 ・実施方法：生ごみに関する講義の後、ぼかしを使ってみた感想や工夫している点、困っている点についてフリートーク形式で行う情報交換会のコーディネート
<p>事業の対象 (「誰を」「どこを」対象として実施するのかを記載してください)</p>	<p>小牧市民</p>
<p>事業の実施予定場所 (「どこで」実施するのかを記載してください)</p>	<p>エコハウス・小牧（小牧市リサイクルプラザ） プラザハウス内体験工房</p>
<p>協働する意義及び必要性相乗効果</p>	<p>意義や必要性 今まで職員ではできなかった講座を市民活動団体により実施することで、講座が充実し、市民の環境問題への関心も高めることができる。また、市民活動団体が有している情報を活用することで、講座のブラッシュアップが即時可能であると考え。</p> <p>市にとってのメリット 市民講座の充実 団体が有している知識の利用</p> <p>連携団体に想定されるメリット 活動の安定化と組織の拡大 団体が有している知識の活用</p> <p>想定される相乗効果 講座内容のアップデートが柔軟に出来、より充実した講座とすることで市民の</p>

	環境問題への関心をさらに高めることができる。また、エコハウス・小牧で実施することで常設の展示についても受講者に見てもらうことが可能となり、リサイクルに関する関心を高めることができる。		
役割分担 (市と連携団体がそれぞれ「何を」果たすべきかを記載してください)	市が果たす役割 参加者の募集、場所の提供及び市のSNSを通じた講座の周知		
	連携団体に果たしてほしい役割 講座の講師及び記録 講座に使用する基剤の購入 関連講座の企画・提案		
事業スケジュール		具体的な取り組み	実施体制、対象者、場所等
	4～6月	講座の準備 (2年目以降は、講座の実施も並行して行う)	【実施体制】団体と市 【実施内容】募集や周知方法の検討・確認 【場所】エコハウス・小牧
	7～9月	講座の実施 ① ほかし講座	【実施体制】団体 【実施内容】講座の実施 【場所】エコハウス・小牧
	10～12月	講座の実施 ① ほかし講座	【実施体制】団体 【実施内容】講座の実施 【場所】エコハウス・小牧
	1～3月	講座の実施 ① ほかし講座 ② 情報交換会	【実施体制】団体 【実施内容】講座の実施 【場所】エコハウス・小牧
その他			